

青森県立郷土館中期事業計画（令和7～10年度）及び令和8年度事業計画

基本的運営方針《使命》

青森県立郷土館は、昭和48年に「ふるさとの 過去を語り 現在を考え 未来を 展望する」総合博物館として設置され、以来長きにわたり、県民が郷土に誇りを持ち、夢や希望を感じられるよう、郷土に根ざした活動を行ってきました。

当館の使命は、本県の歴史や自然、文化などについて、資料収集・保存、展示、調査研究、教育普及等の活動を通して、誰もが幅広い理解を得られる場を提供するとともに、郷土の貴重な資料を次の世代へ確実に継承することにあります。

青森県内博物館の中核として、他の博物館などと連携を強化しながら、広く県民の意見を取り入れるとともに、資料のデジタル・アーカイブ化とSNS等を活用した情報発信を推進し、未来に向け、次のとおり博物館活動の充実に努めて参ります。

基本的運営方針	中期事業計画（令和7～10年度）		令和8年度事業計画		
	中期目標	実施計画	年度目標	年度計画	評価項目〔 〕は目標値
1 資料の収集・保存 総合博物館である当館は、開館以来、一貫して郷土の歴史や自然、文化などに関する資料の収集・保存に努めています。県民・国民共有の財産である貴重な資料を、良好な状態で次の世代に継承していきます。	寄贈・寄託の受入等を推進するとともに、資料の保存処理を計画的に実施し適切に保管します。 また、デジタル・アーカイブ化を推進します。	青森県に関する資料について、資料収集方針等に基づき受入を適切に行い、館所蔵の資料を充実させるとともに、資料管理システムへ登録します。	寄贈・寄託の受入等を推進するとともに、資料の保存処理を計画的に実施し適切に保管します。 また、デジタル・アーカイブ化を推進します。	・資料収集方針等に基づき受入を適切に行い、館所蔵の資料を充実させるとともに、資料管理システムへ登録します。	・資料寄贈等受入実績 ・資料管理システム登録点数〔430点/年〕
		収蔵資料の整理を進め、適切に保存します。 資料の保存処理を計画的に行います。		・ゲストキュレーターの協力を得て収蔵資料の整理を進め、適切に保存します。 ・資料の保存処理を行います。	・ゲストキュレーターの活動実績 ・資料保存処理の実績
		資料を点検し、厳正な保管を行います。		・資料を点検し、厳正な保管を行います。	・資料の点検実績

基本的運営方針	中期事業計画（令和7～10年度）		令和8年度事業計画		
	中期目標	実施計画	年度目標	年度計画	評価項目〔 〕は目標値
2 展示 郷土の歴史や自然、文化などを体感し、学び、知的探求心が喚起されるよう、わかりやすい展示を行います。 また、他の博物館や民間事業者等の多様な主体との連携により、郷土への関心が高まるよう、多彩な活動を展開します。	郷土の歴史や自然、文化などを体感し、学び、知的探求心が喚起されるよう、わかりやすい展示を行います。 他の博物館や民間事業者等の多様な主体との連携により、郷土への関心が高まるよう、多彩な活動を展開します。	休館中においても館外での展示を行い、資料に触れる機会を確保するとともに、リニューアルに向けた展示設計について検討を進めます。 他の博物館や民間事業者等の多様な主体との連携による多彩な活動を展開します。	郷土の歴史や自然、文化などを体感し、学び、知的探求心が喚起されるよう、休館中においても館外での展示を行い、資料に触れる機会を確保します。 多様な主体との連携により、郷土への関心が高まるよう、多彩な活動を展開します。	・サテライト展を開催します。 ・サテライト展の開催に当たり、関連事業を実施し、体験活動や解説を行います。 ・多様な主体との連携により、多彩な共催展を開催します。	・サテライト展開観覧者数〔6,000人〕 ・関連事業参加者数〔定員の8割以上〕 ・アンケート結果 ・共催展開催実績 ・展示設計に向けた検討
3 調査研究 郷土の歴史や自然、文化などについてより明らかにし、記録・公開するため、調査研究を行います。	各分野ごとにテーマを設定して調査研究を行い、記録・公開するなど、リニューアル後の展示会開催に向けて取り組みます。	<考古分野> 「青森県内出土考古資料の所在調査」に取り組み、青森県の歴史（先史時代）の解明を進めます。 <自然分野> 「青森県の鉱山調査」に取り組み、鉱山史や産出した鉱石の利用等について展示・教育普及に活用できるようまとめます。	各分野ごとにテーマを設定し、年次計画に基づいて調査研究を実施し、記録・公開します。	<考古分野> 県内外に所在する青森県ゆかりの考古資料について文献調査を行うとともに、県立弘前南高校所蔵資料調査の成果をまとめます。また、中部地方の博物館を対象に調査を行います。 （5年計画4年次目） <自然分野> 青森県の石材利用について調査を行います。また、収蔵資料に関する調査を行います。 （3年計画1年次目）	・調査研究実施実績 ・成果の公表実績

基本的運営方針	中期事業計画（令和7～10年度）		令和8年度事業計画		
	中期目標	実施計画	年度目標	年度計画	評価項目 [] は目標値
3 調査研究 つづき		<歴史分野> 「青森県の交通史」に取り組み、近世・近現代の青森県を中心とした、陸上の交通の様相についてまとめ、展示・教育普及に活用します。		<歴史分野> 青森県を中心とした近世・近現代の交通の様相について調査を行います。 （5年計画4年次目）	
		<民俗分野> 「現代社会の中の民俗」に取り組み、社会変化と人々の生活形態の変化による伝統的な衣食住、生業、人生儀礼、信仰、年中行事、民俗芸能等の変容事例を確認し、調査・記録・分析します。		<民俗分野> 近代の社会変化と現代の消費文化、観光などの社会的需要が、民間の儀礼や習俗にどのような影響を与え、現在の形を形成したのか、資料採集と実地調査を通じて研究を行います。 （7年計画4年次目）	
		<美術分野> 「青森県関係の美術作品及び資料の調査研究」に取り組み、作品の制作動機、背景、制作方法について調査・分析の上まとめ、展示・教育普及に活用します。		<美術分野> 弘前市出身の日本画家（野沢如洋）について、近代の青森県の文化及び日本画の普及に与えた影響を探るため、県内関連文献収集及び作品調査を行います。 （3年計画1年次目）	

基本的運営方針	中期事業計画（令和7～10年度）		令和8年度事業計画		
	中期目標	実施計画	年度目標	年度計画	評価項目〔 〕は目標値
4 教育普及・学習支援 博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めるため、人々の学習を支援し、教育普及活動の充実を図ります。	博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めるため、人々の学習を支援し、教育普及活動の充実を図ります。	考古、自然、歴史、民俗の各分野における専門性をいかしたテーマについて講演等を実施するほか、依頼される学習内容に応じて講師派遣及び出前授業を行います。	博物館への興味関心を高め、郷土に関する理解を深めるため、考古、自然、歴史、民俗の各分野において、人々の学習を支援し、教育普及活動の充実を図ります。	館外で一般向け事業及び児童生徒向けの事業を実施します。 ＜一般対象の事業＞ ・土曜セミナー 当館職員が本県の歴史や文化、自然などをテーマにした講演等を実施します。 ・講師派遣 県内市町村等、館外からの依頼に応じて当館職員が自分の専門分野をいかした講演等を行います。 ・移動博物館 館外からの依頼に応じて、当館で所蔵している資料を公共施設などに持参し、資料の解説や体験活動を行っていきます。 ・特別移動博物館 遠隔地等、当館事業の開催地へ足を運ぶのが難しい地域の方に向け、その地域にゆかりのある収蔵資料を持ち込んでの展示や解説、ワークショップなどを地元市町村の教育委員会等と連携して企画、開催します。 ・自然観察会 野外での自然観察を通じて自然に親しみ自然の素晴らしさを学びます。	・各事業の開催実績 [定員の8割以上] ・アンケート結果

基本的運営方針	中期事業計画（令和7～10年度）		令和8年度事業計画		
	中期目標	実施計画	年度目標	年度計画	評価項目〔 〕は目標値
4 教育普及・学習支援 つづき				<児童生徒向けの事業> ・出前授業 実物資料を持参して学校の学習内容に応じた資料展示や解説、体験活動を行い、児童生徒の学習活動を支援します。 ・夏・冬休みこどものくに 夏・冬休み中の子どもたちを対象に、もの作りや体験活動を行います。	・各事業の開催実績 [定員の8割以上] ・アンケート結果
5 運営体制 すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間の提供と多様化するニーズへの対応のため、施設・設備の充実と館職員のさらなる資質向上に努めます。 また、資料を介してコミュニケーションを図り、他の博物館や学校、図書館、民間事業者等、多様な主体との積極的な連携・協働を推進し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。これらの博物館活動を継続していくため、経営資源を最大限に生かし	すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間づくりを推進します。 多様化するニーズに対応するため、館職員のさらなる資質向上に努めます。	新しい博物館の整備に向けた検討を進め、すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間づくりに取り組みます。	すべての人に開かれた、安全・安心で快適な空間づくりを推進します。	・新しい県立博物館の整備に向け基本計画の作成等を進めます。 ・施設設備の定期点検を実施します。	・整備作業の進捗状況 ・施設設備定期点検実績
		研修への派遣等を通し、館職員のさらなる資質向上に取り組みます。	多様化するニーズに対応するため、研修への派遣等を通し、館職員のさらなる資質向上に努めます。	・職員を研修に派遣します。 ・館内での研修を行います。	・各種研修実績
	時代のニーズに合わせた積極的な情報発信を推進します。	郷土館だより等の作成・配布に加え、SNS等を活用し、情報発信を積極的行います。	郷土館だより等の作成・配布やホームページ、複数のSNSの活用などにより、情報発信を推進します。 ホームページのアクセス数向上に取り組みます。	・郷土館だより等を作成・配布します。 ・様々な広報・情報媒体を計画的・効果的に活用します。	・出版物発行実績 ・広報配布物発行実績 ・情報媒体（新聞、テレビ・ラジオ、雑誌）活用実績 ・SNS活用実績 ・HPアクセス数 [30,000件/年]

基本的運営方針	中期事業計画（令和7～10年度）		令和8年度事業計画		
	中期目標	実施計画	年度目標	年度計画	評価項目〔 〕は目標値
5 運営体制 つづき ながら、効率的・効果的な運営基盤の確立を図ります。	資料を介してコミュニケーションを図り、他の博物館や学校、図書館、民間事業者等、多様な主体との積極的な連携・協働を推進し、社会の要請に応える博物館として総合力を高めます。	他の博物館等と連携し、展示会等を開催するとともに、館外での展示による連携・協働に取り組めます。 収蔵資料検索システムにより資料を公開します。	資料を介してコミュニケーションを図り、多様な主体との積極的な連携・協働を推進します。	・多様な主体との連携により、展示会、講演会等を開催します。 ・収蔵資料検索システムをより充実させます。	・展示会については、「2 展示」を参照 ・講演会等の開催実績 ・収蔵資料検索システム登録実績 [登録：800点/年]
	博物館活動を継続していくため、経営資源を最大限に生かしながら、効率的・効果的な運営基盤の確立を図ります。	博物館評価を実施し、PDCAサイクルにより常に改善に取り組めます。	博物館活動を継続していくため、経営資源を最大限に生かしながら、効率的・効果的な運営基盤の確立を図ります。	・博物館評価を実施し、PDCAサイクルにより常に改善に取り組めます。	・博物館評価の実施実績